

ハイキング

9月16日(木) 体育科3年生は野外活動の一環として、ハイキングを行いました。西蔵王公園までの道中、「草木は秋になっても潤っているなあ」と感動し、慈眼寺住職の塩沼亮潤さん(大峰千日回峰行満業)の言葉を思い出しました。48キロの山道を1000日間歩き続けた厳しい修行のなかで少しずつ見えてきたものが、日常にある当たり前の言葉であったり、人としての礼儀の大切さだったそうです。「ありがとうございます」「すみません」「はい」という、人と人をつなぐコミュニケーションの言葉が、大自然によって重要な意義があることを教えられたようです。

最近の私は、それらの言葉を、日常でどれほど、自分の言葉と笑顔で心の底から言っているだろうか……。反省です。日常が当たり前で、感謝の無い歩みに、心の潤いは無いでしょう。心の潤いは勝負運を高めます。

これから3年生は進路実現に向けた大事な受験や、全国大会へつながる予選大会があります。体育科生だけでなく、普通科の仲間も含めた3年生全員で、お互いに敬意を払いながら、感謝心のキャッチボールをして「心の潤い」を求めていかなければなりません。西蔵王の大自然から、感謝(Thank you)と反省(Sorry)と敬意(Excuse me)がチーム山形中央の勝負運を大きく左右することを教えて頂いたような気がします。



